

若者・女性に「選ばれる岩手」宣言

地方創生から 10 年が経ち、岩手の子育て環境や雇用情勢、地域の魅力は大幅に向上しました。一方、東京一極集中はむしろ加速し、若者・女性の県外転出が高い水準で続いています。

人口の移動は個人の選択の結果であり、個人の判断は尊重すべきですが、若者・女性一人ひとりの人生選択の中で「選ばれる岩手」であることが重要です。

国も地方創生の再起動に踏み出しました。私たちは、いま、これまで築き上げた成果を土台に、若者・女性が暮らしやすい・働きやすい「選ばれる岩手」であるように行動する時です。

そこで重要なのが、家庭や地域、職場での性別による固定的な役割分担の解消です。

県では、令和 3 年に、「性別による固定的な役割分担意識をなくそういわて宣言」を行い、県内に賛同の輪が広がっています。さらに、私たちは、具体的に、家庭や地域、職場での性別による固定的な役割分担を変えるべきであり、変えることができるのではないのでしょうか。

家事・育児・介護の負担や地域における特定の役割などの性別による固定化を解消しましょう。性別によらない採用・登用、共働き・共育てを可能にするライフスタイルに応じた柔軟な働き方の導入などを着実に進めていきましょう。

女性に選ばれる環境は、若者にも選ばれる、全ての人にとっても良い環境になります。そうしたお互いを尊重し支え合える環境は、家庭や地域、職場でのウェルビーイング（幸福）が高まり、様々なイノベーションが生み出される環境でもあります。

岩手が若者・女性に選ばれるように、県民みんなで頑張りましょう。

令和 7 年 1 月 17 日

いわて未来づくり機構 ラウンドテーブルメンバー

岩手県商工会議所連合会 会長 一般社団法人岩手経済同友会 代表幹事 大船渡商工会議所 会頭

谷村 邦久 岩山 徹 米谷 春夫

国立大学法人岩手大学 学長 公立大学法人岩手県立大学 学長 岩手県知事

小川 智 鈴木 哲人 達増 拓也

1 自然減・社会減対策

基本的な考え方

性別にかかわらず誰もが活躍できる環境づくりを進めながら、結婚・子育てや移住・定住など多様なライフステージに応じた支援を強化
令和 7 年度は、人口問題対策本部会議での議論を踏まえ、以下の方向性の下で少子化対策・社会減対策を展開

「施策の推進ポイント」
ジェンダーギャップの解消

少子化対策の強化の 3 つの柱

- 1 有配偶率の向上
＜出会いの機会の確保・創出＞
- 2 有配偶出生率の向上
＜全国トップレベルの子ども・子育て施策の展開＞
- 3 女性の社会減対策
＜雇用労働環境の改善と活躍できる環境の創出＞

＜プラスワン＞
広域振興局を
核とした市町村や
地域の状況に応じた
取組の強化

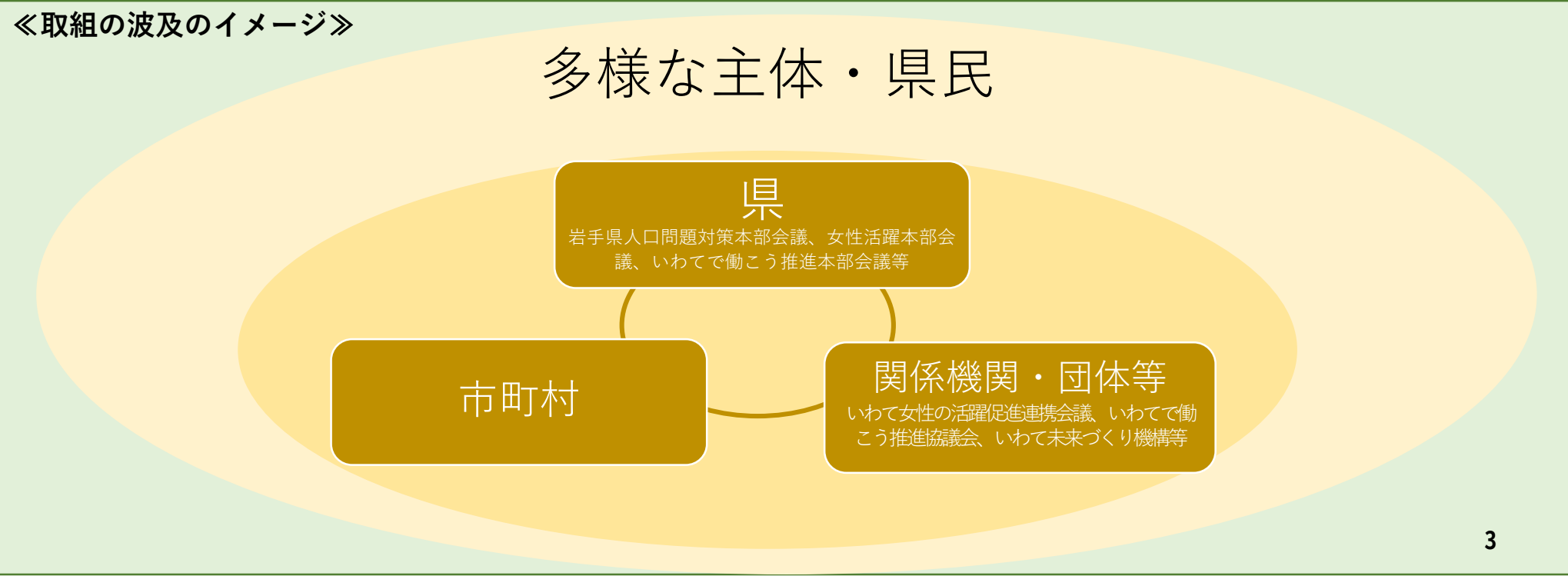
社会減対策の強化の 3 つの柱

- 1 多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上
＜誰もが働きやすく活躍できる職場環境づくり、海外輸出の促進などによる付加価値額の向上＞
- 2 いわてとのつながりの維持・強化
＜いわてでの“暮らし”や“働き”の応援と魅力発信＞
- 3 地域の価値や魅力の発信による交流人口・関係人口の拡大
＜地域の生活文化や自然環境を生かしたインバウンド観光等の拡大・交流の促進＞

ジェンダーギャップの解消に向けた施策の推進・展開方針について

- 第2期APにおいて人口減少対策に最優先で取り組む中で、「ジェンダーギャップの解消」に向けて、全庁を挙げて取組を展開
- 「いわて女性の活躍促進連携会議」や「いわてで働こう推進協議会」、「いわて未来づくり機構」等における取組のほか、男性側の意識改革、行動変容を促すため、関係機関・団体等、多様な主体と連携を図りながら、広く機運醸成と取組の波及を促進

多様な主体がそれぞれ ジェンダーギャップ解消の必要性を自分事として捉え、行動に移す



ジェンダーギャップの解消に向けた取組

エンパワーメント

- ・女性のデジタル分野で即戦力として活躍できるスキル取得と就労を支援
- ・女性の創業を支援する資金の貸付
- ・農林水産業の女性グループの経営力向上に向けた取組
- ・女性活躍推進のための社内キーパーソン養成とキャリア形成支援

ジェンダー・バイアスの解消

取組支援

- ・「家事育児シェア」の普及浸透に向けたキャンペーンの展開等、男性の家事育児への参画促進
- ・男女共同参画サポーターの養成、サポーターと市町村等との協働促進

- ・あらゆる職場での働きやすい環境整備
- ・従業員エンゲージメント向上
- ・リスクリング推進支援

意識啓発

- ・外部専門人材を活用した講演等、地域・家庭における固定的性別役割分担意識解消に向けた啓発
- ・いわて男女共同参画センターによる学校等への出前講座

- ・経営者の意識改革
- ・企業の男性社員の意識改革
- ・ものづくり企業の女性社員と女子中高生等との意見交換

地域・家庭

職場

多様な主体と連携した
オール岩手での推進

ジェンダーギャップの解消

「ジェンダーギャップの解消」関連事業

県民誰もが活躍できる環境づくりに向け、**ダイバーシティ（多様性）**や**インクルージョン（包摂性）**に富む社会を実現するため、**「ジェンダーギャップの解消」**に関する施策を強化し、分野横断で展開

主な事業

	○ いわて家事・育児シェア普及推進事業費	3 百万円	[環境生活部]
	○ いわて男女共同参画プラン推進事業費	26 百万円	[環境生活部]
	○ ライフデザイン形成支援事業費	7 百万円	[保健福祉部]
拡	○ 未来のものづくり人材育成・地元定着促進事業費 新たに女子中高生等を対象に、ものづくり企業で活躍する女性社員等との意見交換を実施するなど、ジェンダーバイアスの解消を図りながら、ものづくり産業への進路選択や就職につなげる取組を推進	26 百万円	[商工労働観光部]
新	○ 固定的性別役割分担意識解消促進事業費 企業や地域等における固定的性別役割分担意識の解消に向け、外部専門人材による講演会や出張セミナーなどを開催	3 百万円	[環境生活部]
拡	○ 人口減少対応型関係人口推進事業費 新たに県北・沿岸地域で「人口減少対策フォーラム」を開催し、男女・世代・地域間のアンコンシャス・バイアスを解消する取組を実施	9 百万円	[ふるさと振興部]
拡	○ いわて女性活躍支援強化事業費 女性が働きやすい職場環境づくりを促進するため、いわて女性活躍企業等認定制度の普及や経営者向けセミナー開催のほか、新たに職場での女性活躍推進を牽引するキーパーソン養成セミナーを実施	5 百万円	[環境生活部]
拡	○ 魅力ある職場づくり推進事業費 ジェンダーギャップ解消の取組を促進し、若者や女性などに魅力ある雇用・労働環境の整備の促進を図るため、所定内労働時間の短縮や子育てしやすい環境整備等を実施（補助率：定額（新たに、3 区分以上の取組を実施する事業所は補助上限額を引き上げ）、補助対象：中小企業等）	10 百万円	[商工労働観光部]
拡	○ いわて働き方改革加速化推進事業費 働き方改革の促進や生産性向上、ジェンダーギャップの解消等を推進するため、労働環境の整備と処遇改善に向けた取組を支援するとともに、若者や女性などに魅力ある職場環境づくりに向けて、新たに企業における従業員エンゲージメントを高める取組を支援	10 百万円	[商工労働観光部]
拡	○ 幸せ創る女性農林漁業者育成事業費 女性が働きやすい環境整備や女性グループの経営力・自主企画力向上に向けた取組などを支援するほか、新たにアンコンシャス・バイアスの解消に向けた若者との協働等による女性漁業者の情報発信等を実施	9 百万円	[農林水産部]
	○ 沿岸地域基幹産業人材確保支援事業費 水産加工事業者が実施する女性が働きやすい職場環境の整備等に要する経費の一部を補助する市町村を支援（補助率：定額、補助対象：市町村）	28 百万円	[復興防災部]
	○ いわて女性デジタル人材育成プロジェクト事業費	16 百万円	[環境生活部]
	○ 女性のためのつながりサポート事業費	15 百万円	[環境生活部]
	○ いわてで働こう推進協議会管理運営費	0.4 百万円	[商工労働観光部]